

議 事 録

議 題	北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会第4回全体会議		
日 時	令和元年11月25日(月) 19時00分～20時05分	場所等	鹿浜西小学校会議室
出席者 (敬称略)	統合地域協議 会委員	北鹿浜小学校 渡邊 淳子、矢部 俊久、石塚 祐二、鹿浜 武夫、矢萩 惠一、 宇都宮 晴美(校長)、日高 陽子(副校長) 7名 鹿浜西小学校 野辺 陽子、鈴木 健治、松村 哲男、野辺 慎一、鈴木 三枝子、 飯島 淳(校長)、瀧 満裕(副校長) 7名	
	足立区	学校改築担当課長 内田 裕司、学校施設課学校改築係長 関根 淳、建築第二 係長 齋藤 実、建築第二係 戸張 友雅、和泉 景子、学校適正配置担当課長 五十嵐 隆、適正配置担当係長 斉藤 進、適正配置担当 外岡 来夢、 大山 勝也、株式会社 ニュージェック 3名	
傍聴	2名		
資 料	1 次第 2 第3回統合地域協議会全体会議議事録 3 令和元年台風19号に伴う水防体制再構築本部の設置について 4 第4回資料(設計編)		
項番	議 事 要 約		
1	新校舎の設計について		
次回予定等	日時： 日程は、後日決定する。 場所： 北鹿浜小学校 会議室		

項 番	議 事 詳 細 (文中敬称略)
	<p style="text-align: right;">司会： 鈴木副会長</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 野辺会長</p> <p>3 会長職務代理挨拶 渡邊会長職務代理</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 第3回統合地域協議会全体会議の議事録について 説明者：齊藤適正配置担当係長</p> <p>(2) 令和元年台風19号に伴う水防体制再構築本部の設置について 説明者：五十嵐学校適正配置担当課長</p> <p>5 議題</p> <p style="text-align: right;">議事進行： 野辺会長</p> <p>(1) 統合新校舎の設計について</p> <p>ア 配置比較表(確認)について 説明者：和泉学校施設課建築第二係主任</p> <p>イ 平面図(案)について 説明者：齋藤学校施設課建築第二係長 設計会社(株式会社 ニュージェック)</p> <p>主な意見・質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は避難所になる。これから作るのだから、バリアフリーの設計にして欲しい。車椅子が通るスペースがあればなお良い。 → 新校舎には、エレベーターを設置するなどし、工夫をしていく。(学校施設課) ・ エレベーターは、災害等の際に動くのか。今回の台風19号の際は、職員室の鍵はどこにあるのか等、どこの避難所も皆さんから轟々の意見があった。 → 今回の設計では、水害を考え体育館は2階に設計している。またエレベーターがもし使用できない場合を想定し、水害以外の災害時には、1階の視聴覚室を足の悪い人等が避難場所として使用できる部屋として設けて行きたいと考えている。(学校施設課) ・ 避難所に車で来た場合に、車を置く場所がない。校庭に車を置けるようにして欲しい。 → 現在の設計でメンテナンス用の駐車場として2台確保している。また給食の搬入経路となるバックヤードに広いスペースをとっているなのでその場所にも駐車ができる。西正門、東正門にも車を置くスペースを考えている。校庭の車両の駐車については、どのようなことが出来るのかこれから検討させていただく。(学校施設課) ・ これから設計するのだから、色々と考えていただけるとありがたい。 → 水防体制再構築本部の設置についてを先ほど、ご説明させていただいたが今後、学校整備部会で災害時にどうすべきか、どのような設えにしていくべきか等を検討していく。本日は、ご意見を伺って、学校整備部会で十分に考えていきたい。水防体制再

項番	議 事 詳 細 (文中敬称略)
	<p>構築本部では、災害の専門家の意見も取り入れていく。(学校施設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平面図の説明はあったが、垂直の高さについては、本日の資料にはない。旧鹿浜中の高さは、A. P. 3. 3と地域防災計画には掲載されている。近くの鹿浜五色桜小は、道路と同じくらいの高さになっていて非常に不安がある。旧鹿浜中の現在の高さでも、いざという時は校庭まで水がくると思う。建物の高さ、校庭を高くするように配慮して欲しい。ただあまり高くするとバリアフリーの面から、今度は使い勝手が悪くなってしまうが、その部分はうまくやって欲しい。 → 今後の検討事項として、配慮させていただく。(学校施設課) → 現在の計画では、校庭の高さを外周から50cmほど高くしている。また2階の体育館の床面の高さは、浸水しない高さで設計する。(設計会社) <p>※A. P. (エーピー)</p> <p>東京湾壺岸島量水標の目盛による基準面零位を基準とする基本水準面(Arakawa Peilの略)。なお、この量水標は明治6年6月に設置され、明治12年12月までの6年7ヶ月(6ヶ月間欠測)の平均潮位を計算した結果、その値がA. P. 零位+1.1344mという数値であったことから、この面を東京湾中等潮位の零位と定め、全国の水準点の基礎として用いている(国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所ホームページより)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1階部分が浸水すると動きが非常に悪くなる。できるだけ校庭と1階の床面は、高いほうが良い。 ・ 1階の「備蓄倉庫外用」という部屋は何を置くのか。 → 校庭で使用するマンホールトイレ等を置く場所としている。2階の備蓄倉庫は、食料等を予定している。(学校施設課) ・ 災害時に地域の方は、備蓄倉庫を開けることはできるのか。 → 避難所運営部会で鍵開け等を含め避難所をどのように開設するのか検討していく。(学校施設課) ・ 現在、体育館利用者動線は、1階の地域連携室までとなっているが、この動線を隣の備蓄倉庫外用の部屋まで延ばしたらどうか。また2階の体育館利用者動線も体育倉庫までとなっているが、隣の備蓄倉庫まで延ばしてもらえれば、地域の方が備蓄倉庫を開けられるので、スムーズに備蓄品を出せると思う。 → ご意見として承ります。(学校施設課) ・ 大階段の作りであるが、階段の端側の安全対策は、大丈夫なのか。子どもは何をするのかわからない。 → 階段の安全対策は、最大限考えていく。(学校施設課) ・ 階段の手すりが真っ直ぐの作りだと、子どもが乗って滑って遊んでしまう心理もある。波型になっている階段もあったと思う。現代的なものになるが、そんな階段もあって良い。 → 現在、大階段の平面計画を設計している段階であり、今後、手すりの仕様についてなど詳細を考えていく。(学校施設課)

項 番	議 事 詳 細 (文中敬称略)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新校舎へ移転後は、鹿浜西小の避難所はどうなるのか。鹿浜西小に避難をしている人は、新校舎まで避難をすることになるので距離が遠くなる。 → 跡地利用は、これから検討することになる。本日の意見は、跡地活用を所管している資産活用担当課にお伝えする。(学校適正配置担当課) <p>ウ 校庭の配置計画(案)について 説明者：戸張学校施設課建築第二係主任 主な意見・質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工芝と土の部分についてなど、校庭の仕様はこれからの検討になるのか。 → 人工芝は、原則として飲食ができない、火が使用できないという特徴がある。地域の方からは、地域行事として校庭を使用したいというご意見を伺っているので、校庭の仕様を決めていく中でどのように両立していけるのか、今後考えていく。(学校施設課) ・ 避難所になり、車を校庭に駐車することになった場合、人工芝の校庭に駐車できるのか。 → 人工芝は、車の乗り入れはしないことをお願いをしている。(学校施設課) ・ 緊急の場合は、車を駐車できるのか。これから作るものであるから色々なことを考えて欲しい。 → 緊急の場合に車を駐車できるかは、その場の判断になることもある。絶対、車が入れないとは申し上げられない。ご意見として伺い、今後検討していく。(学校施設課) <p>6 その他</p> <p>(1) 次回の開催日程について 統合地域協議会第5回全体会議 午後7時～ 北鹿浜小学校会議室 (水防体制再構築本部の検討状況を把握しながら進めていく必要があるため、協議会時には次回の日程を決定せず、後日に決めることにした。)</p> <p>(2) その他 特になし。</p> <p>7 閉会の挨拶 矢部統合地域協議会副会長</p>